

## 外国語活動 学習指導案

学校名 北 広 島 町 立 八 重 小 学 校  
授業者 T 1 パワーアップリーダー 三 宅 知 英 子  
T 2 A L T Richard Santa Cruz

- 1 日 時 平成31年1月23日(水)  
2 学 年 第6学年 24名  
3 単元名 Unit 8 「What do you want to be? 将来の夢・職業」 “We Can! 2 unit8”  
4 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編(平成29年7月)における「読むこと」「イ 音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。」に基づいて指導する内容である。

本単元は、職業や夢等について聞いたり話したりするとともに、他者に配慮しながら就きたい職業とその理由を書き、単元の最後には、書いた将来の夢を読み合い、伝え合うことをねらいとしている。

卒業をまもなく迎えるこの時期に、自分の将来について考えることは、第6学年の児童にとって適切であり、魅力的な活動である。

新出表現である“What do you want to be?” “I want to be a ~.”に加え、“I like~. I want to~.” “I can~.”などの既習表現も併せて使うことで、自分の考えや気持ちを伝え合うことのできる単元である。

この単元のゴールでは、卒業文集に自分の夢を載せる活動を行う。「どのように理由を書けばクラスの友達に自分の就きたい職業を伝えることができるだろうか」等子どもたちの思考が、他者を意識したものに深まっていくと考える。他者に配慮しながら書き、また、目的意識をもって友達の原稿を読むことで、思考力・判断力・表現力の育成につなげることができる単元である。

- 本学年の児童は、第1・2学年時に年間8時間、第3・4学年時に年間15時間、第5学年時には年間35時間、外国語活動を学んできている。身の回りの簡単な言葉を使ってゲーム等を行い、楽しんで活動をしてきた。第6学年では、1学期は「聞くこと」・「話すこと」を中心に、2学期は「聞くこと」「話すこと」に加え、「書くこと」にも挑戦した。また、12月に行われた台湾の高校生との交流会では、けん玉や折り紙を台湾の高校生と一緒に楽しんだ。外国語活動で学んだ英語を駆使して、なんとかしてコミュニケーションをとろうとしながら、一緒に活動することにより、実際に英語が通じた喜びを感じることができた。

これまでに児童は、道徳「マザー・テレサ」で偉人の生き方について学んできた。また、図画工作科では、12年後の自分をイメージし、将来就きたい職業の人形を作成した。これらの学習から、児童は、自らの未来について考え、自分なりの考えを持てるようになってきた。しかし、友達同士で自分の将来の夢を語り合うことはほとんどなく、友達の就きたい職業をなんとなく知っていても、その理由については知らない児童が多い。また、就きたい職業や理由をみんなの前で言うのは恥ずかしく、抵抗を感じる児童もいる。

9月20日行ったアンケート調査では、「14 英語のきまりを守って書いています。」の項目では、95.8%と大変高い。言われたことをまじめにやろうとする学級の実態がある。しかし、反面、「9 英語でやり取りをするときには、相手の言ったことにならずいたり、英語で返事をしたりしています。」の項目では、肯定的評価が58.3%、「11 英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えていきます。」の項目も62.5%と大変低く、やり取りに自信を持つことができない児童がたくさんおり、やり取りに課題があると考えられる。

- 指導に当たっては、単元の導入時に、単元末に行う活動を伝え、目指す姿を明確に児童に示す。児童は、そのゴールを見据えた活動が期待できると考える。また、毎時間、本校職員の将来の夢をどの職員かあてる活動を行う。自分の就きたい職業や就きたい理由を考える手助けとなり、さらに

これまで習った表現の“I like～. I want to～. I can～.”等の、就きたい理由を相手に伝える表現に気付くことができると思う。また、いろんな先生の夢を知ることができてうれしいという気持ちや、友達はどのような夢を持っているのだろうかという思いを持ち、自他の夢への興味が高まると考えられる。友だちの夢やその理由も知りたいという思いから、毎時間の活動に意欲的に取り組むことができるだろう。

また、単元の流れを掲示し、振り返りカードでも確認し、コミュニケーションの見通しを持たせたい。

また、スモールトークを行い、児童が自信をもってやり取りを行うことができるよう、コミュニケーションでのつまづきを全体で共有し、既習の表現を使ってどう伝えればよいのかを全体で考える。会話の練習ではなく、自分や友達の本当の思いを伝え合ったりすることに重点を置きたい。そのため、何とかして自分の考えや気持ちを伝えようとしている児童を称賛し、主体性をはぐくみたい。やり取りの場面では、問いかけに対して答えるだけの一方通行のやり取りではなく、反応や感想、問い返しなどして話を続けることを、指導者が具体的なモデルを示して児童に気付かせ、児童がそのような反応を示した際には、すぐに評価したり、他の児童に紹介したりする。さらに、本単元で扱う表現を用いたやり取りを、他の教職員とも行うことで、児童が自信をもってやり取りをすることができる土台を作っていく。

さらに、就きたい職業と理由を書く活動においても、どのような表現を使えば相手に伝わるかを考えさせ、何とかして自分の考えや気持ちを児童同士が受容的なコメントを返すことで、少しでも児童が自信を持つことができるよう取り組みたい。

さらに、書いた将来の夢は、クイズを行うために、他者を意識して文を書かせたい。最終的には、卒業文集に載せる活動も行うことから、相手に分かりやすくまた丁寧に書く意欲につなげたい。

## 5 単元の目標

○積極的に自分の将来の夢について伝え合おうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○将来の夢について英語を推測しながら読んだり、書き写したりすることに慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子がいることを知り、職業を表す語について英語と日本語との音声面等の違いを通して、言葉の面白さに気づく。 【言語や文化に関する気付き】

## 6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手意識をもって、積極的に自分の将来の夢について伝え合おうとしている。	①どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ②将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例文を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。	英語と日本語との音声面等の違いを通して、言葉の面白さに気付いている。

## 7 単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	「伝え合おう ぼく・私の夢」自分が将来就きたい職業や夢などについて、やりとりや原稿を読んだり書いたりすることを通して友達と伝え合い、卒業文集に載せる原稿を作る。
目指す児童の姿発話例	A <u>What do you want to be?</u> B <u>I want to be a pianist.</u> A Why? B I like music.I can play the piano. / <u>I am good at playing the piano.</u> A That's nice. <u>Nice dream!</u> <u>Good luck!</u>
目指す児童の姿原稿例	<u>I want to be a pianist.</u> I like music.I can play the piano. <u>I am good at playing the piano.</u>

## 8 言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>What do you want to be?</u></li> <li>• <u>I want to be a (pianist).</u></li> <li>• I like (music). I can (play the piano well).</li> <li>• <u>I am good at (playing the piano).</u></li> <li>• I want to (<u>teach</u>). That's nice.</li> <li>• <u>Good luck! Nice dream!</u></li> </ul>	be, luck, future,職業 ( <u>astronaut.pianist.architect.doctor.teacher.artist.composer.mechanic.forester.cook.cartoonist.clothes seller.scientist.vet.physical therapist.care worker</u> )

## 9 単元計画（全6時間 本時 6/6時間）

時	目標と主な活動	評価規準 評価方法	表現例
1	<p>◆指導者の子どもの頃の夢について聞き，将来の夢について紹介する表現を知り，単元の見通しを持つ。（三宅，リック）</p> <p><b>職業の名前を知ろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Who am I?クイズ① どなたかの先生の原稿を聞き，内容について話し合う。</li> <li>• 【Let's Watch and Think 1】 紙面を見て，知っている職業名について話し合い，英語での言い方を知る。映像を見て，分かったことを話し合う。 指導者の子どもの頃の夢について聞き，単元のゴールイメージを持つ。</li> <li>• 【Let's Play】:Pointing Game 指導者が言う職業を聞いて，紙面にある職業の絵をペアで指し示す。</li> <li>• 【Let's Chant】 What do you want to be?</li> </ul>	<p>【気】 英語と日本語の音声面等の違いを通して，言葉の面白さに気付いている。（行動観察・振り返りカード）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>I want to be a pianist.</u></li> <li>• 職業名 (<u>astronaut.pianist.architect.doctor.teacher.artist.composer.mechanic.Forester.cook.cartoonist.scientist.vet.physical therapist.care worker</u>)</li> </ul>

2	<p>◆職業についてまとまった話を聞いて理解したり，就きたい職業を伝えあったりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       就きたい職業をたずねたり答えたりしよう。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Small Talk : 就きたい職業</li> <li>• Who am I クイズ② どなたかの先生の原稿を聞き，内容について話し合う。</li> <li>• Key word Game</li> <li>• 【Let's Watch and Think 2】 映像を見て，分かったことを話し合う。</li> <li>• Let's talk: 自分の就きたい職業について，友達に尋ねたり答えたりする。</li> </ul>	<p>【慣】 どのような職業に就きたいかを尋ねたり，答えたりする表現に慣れ親しんでいる。(行動観察・振り返りカード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>What do you want to be?</u></li> <li>• <u>I want to be a pianist.</u></li> <li>• <u>That's (good).</u></li> <li>• <u>Good luck!</u></li> <li>• 職業 (<u>architect, composer, mechanic, forester.</u>)</li> </ul>
3	<p>◆就きたい職業とその理由について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       就きたい職業とその理由をたずねたり答えたりしよう。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 【Let's Chant】 What do you want to be?</li> <li>• 【Let's Watch and Think 3】 映像を見て，分かったことを話し合う。</li> <li>• Matching game</li> <li>• Who am I クイズ③ どなたかの先生の原稿を聞いたり読んだりして，内容について話し合う。</li> <li>• Let's talk: 職業を選んだ理由について， I like～. / I can～. / I am good at ～. / I want to ～. などの表現を用いて友達と伝え合う。</li> </ul>	<p>【コ】 相手意識をもって，積極的に自分の将来の夢について伝え合おうとしている。(行動観察・振り返りカード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>What do you want to be?</u></li> <li>• <u>I want to be a pianist.</u></li> <li>• Why?</li> <li>• I like (music).</li> <li>• I can (play the piano well) .</li> <li>• <u>I am good at (playing the piano.)</u></li> <li>• <u>That's (good).</u></li> <li>• <u>Good luck!</u></li> </ul>
4	<p>◆就きたい職業とその理由について伝え合うとともに，就きたい職業を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       就きたい職業を書こう。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Small Talk : 就きたい職業とその理由</li> <li>• 【Let's Chant】 What do you want to be?</li> <li>• 【Let's listen】 登場人物の話を聞いて，分かったことを話し合う。</li> <li>• Matching game</li> <li>• Who am I クイズ④ どなたかの先生の原稿を聞いたり読んだりして，内容について話し合う。</li> <li>• 【Let's Read and Write】 I want to be a ～. を，例文を参考にして書く</li> </ul>	<p>【慣】 将来の夢について，例文を参考に書き写すことに慣れ親しんでいる。(行動観察・振り返りカード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>What do you want to be?</u></li> <li>• <u>I want to be a pianist.</u></li> <li>• Why?</li> <li>• I like (music).</li> <li>• I can (play the piano well) .</li> <li>• <u>I am good at ( playing the piano.)</u></li> <li>• <u>That's (good).</u></li> <li>• <u>Good luck!</u></li> </ul>

5	<p>◆就きたい職業とその理由について伝え合うとともに、理由を書く。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">就きたい職業の理由を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 【Let's Chant】 What do you want to be?</li> <li>• Matching game</li> <li>• Who am I クイズ⑤ どなたかの先生の前稿を聞いたり読んだりして、内容について話し合う。</li> <li>• Let's Read and Write “I like ～. /I can～” を、例文を参考にして書く。 前時までのワークシートを参考にして、大文字と小文字に気を付けているか、スペースに気を付けているかなどに注意して原稿を書く。</li> </ul>	<p>【慣】 将来の夢について、例文を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。 (行動観察・振り返りカード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>I want to be a pianist.</u></li> <li>• I like (music).</li> <li>• I can (play the piano well) .</li> <li>• <u>I am good at (playing the piano.)</u></li> </ul>
6 本時	<p>◆将来の夢について書かれた原稿を読み、内容が分かる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">将来の夢について書かれた原稿を読み合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 【Small Talk】：将来就きたい職業とその理由</li> <li>• 【Let's Chant】 What do you want to be?</li> <li>• Matching game</li> <li>• Who am I クイズ⑥ どなたかの先生の前稿を聞いたり読んだりして、内容について話し合う。</li> <li>• Let's read:配布されたクラスの中の誰かがの原稿を読み、内容についてグループで交流する。</li> </ul>	<p>【慣】 将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。 (行動観察・振り返りカード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>I want to be a pianist.</u></li> <li>• I like (music).</li> <li>• I can (play the piano well) .</li> <li>• <u>I am good at (playing the piano.)</u></li> <li>• That's nice.</li> <li>• <u>Good luck! Nice dream!</u></li> </ul>

卒業文集に載せよう。

## 10 本時の計画

### (1) 目標

将来の夢とその理由について伝え合ったり、友達の前稿を推測しながら読み、内容について話し合ったりする。

### (2) 評価規準

- 将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。【外国語への慣れ親しみ】

### (3) 準備物

電子黒板、絵カード、ワークシート、振り返りカード

(4) 学習の展開

児童の学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点等 ◆評価
	T 1	T 2 (ALT)	
<p>1 挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習リーダーが中心となってやりとりを進める。</li> <li>・曜日、日付、天気を言う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Very good! I like your hello. Very nice! And I am happy now.など挨拶の良さを認める。</li> <li>・ 指導者のスモールトーク後、 What do you want to be?/I want to be a ~. /I like ~. /I can~/I want to ~./I am good at ~./Good luck!などの表現を掲示し、言いにくい児童の支援とする。</li> <li>・ 頑張っているところを個別に A-san, good eye contact. B-kun, I like your smile.など具体的、個別に声をかける。</li> </ul>
<p>2 スモールトークを行う。 (指導者の発表→指導者と児童→児童同士のやりとり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来就きたい職業とその理由</li> </ul>			
	<p>A : What do you want to be? B : I want to be a ~. A : Why? B : I like ~. /I can~/I want to ~./I am good at ~. A : I see.That's nice.Good luck!</p>		
<p>3 チャンツをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【Chants】 What do you want to be?</li> <li>・デジタル教材と合わせて、既習表現を復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の音を意識しながら、ジェスチャーを交えて一緒に言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童から口が見える位置に立ち、一緒に歌う。</li> </ul>	
<p>4 単元の流れを振り返り、本時の活動の見通しを持つ。</p>			
	<p>将来の夢について書かれた原稿を読み、その内容について話し合おう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを掲示し、学習の見通しを持たせる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・やりとりを見ることでゴールイメージを持ちやすくする。</li> </ul>

<p>5 語句の復習をする。</p> <p>① 指導者が「なりたい職業」を読み、「なりたい職業」の語句を取るカルタゲームを行う。(グループ)</p> <p>② マッチングゲームを行う。机上に置かれた絵カードと文字カードから2枚選び、絵と文字が書かれたカードを揃えさせる。(グループ)</p>	<p>Aカード(文字)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ school nurse.</li> <li>・ architect.</li> <li>・ docter.</li> <li>・ mechanic.</li> </ul> <p>など</p>	<p>Bカード(絵)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ school nurse の絵</li> <li>・ architect の絵.</li> <li>・ docter の絵.</li> <li>・ mechanic の絵</li> </ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読みにくい児童の支援として、“Astronaut” is a-a-astronaut のように単語の最初の文字の音に着目させるなどして細やかな段階を踏みながら指導するようにする。</li> <li>・ 絵と文字が混乱しないように、カードの裏に印を付けることで、確実に2種類のカードを選ぶことができるようにする。</li> <li>・ カードにはイラストをつけ、推測しながら読むことができるようにさせる。</li> </ul>
<p>6 Who am I?クイズをする。校長先生の子供のところに書かれた夢について聞いたり原稿を読んだりして、その内容について話し合う。</p> <p>① ALT が読む内容を聞き取る。</p> <p>② 内容についての質問に答える。</p> <p>③ 原稿を配布し、音声を聞きながら、指で追う。再度、ゆっくり読んで聞かせる。</p> <p>④ 指導者が発音した語を文章の中から見つける。</p> <p>④ ALT の後に続いて、繰り返して言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞き取るポイントを示し、誰の原稿かを考えながら、聞くようにさせる。</li> </ul>	<p>T2 I want to be an (astronaut). I want to go to space. It's cool.</p> <p>T2 (1) Who am I? What do you think? Hint This person is he. (2)He want to be a . . . . ? Yes,that's right! (3)He likes . . . . . ?</p> <p>・再度、ゆっくり読んで聞かせる。</p> <p>T2 Can you point the word “want to”? Yes, that's right!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何人かの児童に尋ねながら聞かせることで、新出表現の表現に気づかせていく。</li> <li>・ 指で追うのが難しい児童については、指導者が横について一緒に指差しをしながら声に出すことで自信をもって発話できるようにする。</li> </ul>

<p>7 クラスの中の誰かが書いた原稿を推測しながら読み、分かったことをグループで交流する。</p> <p>① グループで読む。</p> <p>② 分からなかったことや分かったことをグループで交流する。</p> <p>③ ふわふわ言葉で応援メッセージを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰が書いた原稿か分からない状態にして、ワークシートを全体へランダムに配布する。</li> <li>全部読める必要はなく、知っている言葉から推測すればよいことを伝える。</li> <li>良い話し合いを行っているグループがあれば全体に紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導を行い、うまく活動が進められていないグループや、英語表現などで困っている児童の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からない場合、手をあげさせ、初頭音からゆっくり発音し、音を聞かせる。</li> <li>児童が使う語句をイラスト付きのワードリストとして示し、読み合う時の参考とさせる。</li> </ul> <p>◆【慣】将来の夢について簡単な語句や表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。(行動観察、振り返りカード)</p>
<p>8 本時の活動を振り返る。振り返りカードに新しい気づき、友達への新しい気づき等書き、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りをすることを伝える。</li> </ul> <p>“Let’s review today’s class.”</p> <p>◇グループで協力して話し合い推測しながら読み合うことができたことを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後には、卒業文集にまとめることを再度、伝える。</li> </ul>		
<p><b>【めざす子供の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全部は分からなかったけど、〇〇という言葉から就きたい職業を推測することができました。</li> <li>〇〇という言葉と〇〇という言葉から◆◆さんの就きたい職業だということが分かりました。</li> <li>友達の夢と私の夢は同じだったけど、理由が違ってなるほどと思いました。</li> </ul>			
<p>9 終わりの挨拶をする。</p>	<p>T1: Good-bye. See you!</p> <p>T2: Good-bye. See you next time!</p>		